

# 令和8年度 守る会の活動方針

守る会会長 野谷信二

日頃は守る会の活動にご理解・ご協力を賜わりありがとうございます。新年度が始まり守る会内のメンバーも大きく代わりました。不安もありますが協力して突き進んでいきたいと思えます。自分自身も3期目を迎え、後継の事も考えながら保存活動に邁進してまいります。今後も皆様方のより一層のお力添えの程よろしくお願い申し上げます。

## 守る会活動スローガン ～守る・暮らす・つなぐ～

- ①守る：住民憲章を基盤とした、世界遺産である合掌家屋と農山村の景観保全
- ②暮らす：結の精神が根ざした共同体と、景観に調和した豊かな住民生活の向上
- ③つなぐ：故郷から学び、他地域の交流から学び、未来の継承者を育成

### 基本活動

#### ●各種団体と連携した組織の団結力を強化します。

- ▷世界遺産マスタープランの具現化に努めます。
- ▷月毎に定例会を開催し、現状変更申請の審議等、話し合いを深めます。
- ▷休耕地の草刈りやゴミ拾い、清掃活動に積極的に取り組みます。

### 重点活動

#### ●「守る」茅葺や茅採取の技術の継承の輪を広げます。

- ▷結の合掌屋根葺き替えを推進し継承します。
- ▷茅の自給率向上と茅文化を広く継承します。

#### ●「暮らす」空き家、空き地を活用した共同車庫等を検討し景観保全に努めます。

- ▷荻町構想計画会議を重ね、空き家対策に努めます。
- ▷荻町交通対策委員会と連携し、景観保全と暮らしに適した交通対策を見出します。
- ▷景観保全基準におけるガイドラインを見直します。

#### ●「つなぐ」結の再定義から地域に貢献するネットワークを構築します。

- ▷白川郷学園をはじめ、将来担い手の世代間ネットワークを構築します。
- ▷他の伝建地区や町並み保全団体等と交流し、課題解決の糸口を見出します。